

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
能力向上支援				
	●社員としての基本姿勢、コミュニケーション中心の研修内容を実施 ●eラーニングをより現場に合わせたコンテンツにする	●デニーズ営業部DM、店長の接客マナー研修を19開催、445人が受講 ●新規6コンテンツを公開開店コンテンツの見直しを着手	○ ○	●外部講師による店長研修の継続。当社社員の課題に合わせ、内容をブラッシュアップしながら継続 ●各事業部ごとに必要な教育ツールの見直し
公正な評価・処遇				
	●職責内等級制度導入 評価者研修の実施	●2017年6月制度導入 評価者訓練および研修未実施	○ ×	●評価者研修の実施
ワークライフバランスの実現				
	●月間残業時間:20時間未満 ●休日取得(月間9日以上)	●ナショナル社員16.3時間 契約社員14.0時間 パートタイマー3.1時間 ●9日以上の取得率81.1%	○ △	●ナショナル社員15時間 契約社員12時間 パートタイマー3時間 ●9日以上の取得率90%
多様な人材の活躍				
	●シニア層の雇用率:6%以上 ●契約社員群転換:20人 ●女性管理職比率 課長級以上:10%以上 係長級以上:12%以上	●シニア層の雇用率:6.4% ●契約社員群転換:10人 ●女性管理職比率 課長級以上:8.9% 係長級以上:28.1%	○ × ○ △	●シニア層の雇用率:6%以上 ●契約社員群転換:10人 ●女性管理職比率 課長級以上:11% 係長級以上:12%
労働安全衛生への配慮				
	●業務上災害発生件数2017年度目標は2割減の320件以下 ●BMI25以上1割減を目標 ●定期健康診断受診率100% ●深夜健康診断受診率99%以上	●業務上災害発生実績 293件 ●BMI25以上:1,179人(24.3%) ●定期健康診断受診率99% ●深夜健康診断受診率100%	○ ○ △ ○	●業務上災害発生件数 250件以下 ●定期健康診断受診率 100% ●ストレスチェック受診率 80% ●深夜健康診断受診率 100%

人事関連データ

従業員の内訳(2018年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		1,228
	男性	1,021
	女性	207
パートタイマー ^{※2}		8,262
	男性	2,076
	女性	6,186
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		9,490
	男性	3,097
	女性	6,393
新卒採用者数		58
	男性	28
	女性	30
中途採用者数		2
	男性	2
	女性	0

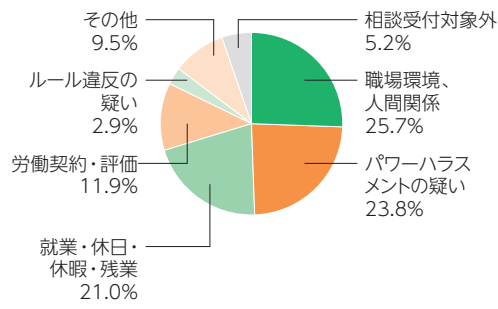
	2015年度	2016年度	2017年度
正社員平均勤続年数	13年0カ月	14年5カ月	14年8カ月
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	69人 (0、56)	45人 (3、33)	45人 (1、39)
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	1人 (1、0)	0人 (0、0)	1人 (0、1)
ボランティア休暇取得者数	0人	2人	0人
女性管理職数(比率) ^{※4}	77人(10.9%)	80人(11.5%)	277人(28.1%)
	係長	71人(12.0%)	268人(30.3%)
	課長	7人(8.3%)	6人(7.4%)
	部長	1人(7.1%)	1人(7.1%)
	役員	4人(30.8%)	4人(28.6%)
障がい者雇用率 ^{※5}	2.40%	2.42%	2.55%
正社員有給休暇取得率	11.3%	17.7%	36.6%
労働災害度数率	0.87%	0.81%	0.78%
労働災害強度率	0.02%	0.02%	0.02%

※1 定年再雇用者72人を含みます。
 ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
 ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
 ※4 係長級以上の比率。
 ※5 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

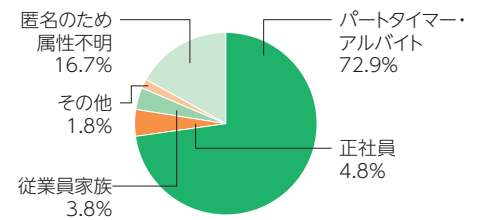
従業員相談受付関連データ

総受付件数は、昨年の111件に対し120件と2年連続で増加しましたが、人間関係の相談や、契約に関するお問い合わせなども増えており、窓口の認知が進んできた結果と捉えています。社会通念の変化に伴う職場環境改善に向けたCSR啓発の重要性はますます高まっており、ハラスメントとワークライフバランス(特に育児と介護)に焦点を絞り、対象や役職により研修内容を変え、目的を持った啓発活動で職場環境改善に努めます。

2017年度相談内容の内訳 受付件数120件(前年度比108.1%)



相談者の内訳



高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
育児・高齢者支援など	●スマイル育児アドバイザーを全店舗に配置し、特にマタニティのお客様に寄り添った接客に特化する資格制度を設ける	●17年10月に資格制度を新設。あわせて、接客に特化した職務も新設。資格84人(48店舗)、職務21人(21店舗)。	○	●資格者全店舗配置、職務者50店舗配置を目指す。
災害時の支援	●要請があれば応えていく方針	●2017年7/6～7/19 九州豪雨災害義援金募金実施。 ●2018年2/9～2/22 台湾東部地震災害救援金募金実施。	○	●要請があれば応えていく方針

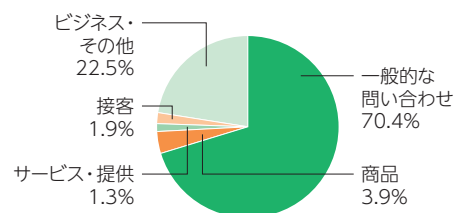
商品や店舗を通じた安全・安心の提供

お客様相談受付関連データ

「年中無休、無料通話ダイヤルのお客様相談窓口」として、お客様からのご要望、ご意見、お問い合わせなどを承り、お客様に寄り添い、迅速かつ誠実に対応しております。初めてご利用いただくお客様が多いため、わからないこと、不安なことをたくさん抱えておられます。その気持ちを少しでもやわらげることができるよう、ていねいな対応を心がけています。お客様へ満足な回答、また円滑な対応ができるよう窓口対応者のスキルアップに取り組み、コールセンター全体の対応品質の向上に努めてまいります。

2017年度相談内容の内訳

受付件数 14,861件 (前年度比98.7%)



2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	●ロット不良件数 ※カッコ内PB商品 2015年度47件(5件) 2016年度34件(11件) 2016年度減少にあるが、PB商品は増加 PB商品の企画は今後増加すると予測され るため、PB商品の管理に注力 目標30件以内	●ロット不良件数 ※カッコ内PB商品 2017年度26件(7件) 目標達成となったが、下期は自主回収多 発により、昨年実績に近い結果 衣料はPB商品の事前サンプルチェック運 用変更にて、事故抑止につなげることが 出来た	○	●2018年ロット目標件数25件以内 データ改ざんなどの問題から、企業姿勢 が問われる報道が多発し、問題→即自主 回収の傾向 事前確認の確実な実行により、未然事故 防止を図る
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	●新店舗の店内にイベントスペース兼休憩 スペースの積極的確保	●新店舗の店内にイベントスペースを確保	○	●新店舗の店内にイベントスペース兼休憩 スペースの積極的確保
適切な情報提供				
	●表示不備件数撲滅に努める。関連各部署 の実態把握とその改善を実施し、重大な 不備ミスを0件にする	●2017年度 表示不備発生件数:67件 不備内容としては、イベント登録(15 件)・商品スペック(12件)が目立つ。リス クが高い「二重価格」・「原産国」・「機能・ 性能」・「効能・効果」・「特定アレルギー」 に関する不備も発生	×	●「景品表示法」・「事例」に関して社内研 修を行うことで、“法令遵守の業務”につ なげるとともに、再発防止に向けた“仕組 みづくり”を行う 社内研修実施:10回 FT情報配信:8回
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	●2017年度は、接客・サービス苦情を年間 260件以内を目標とし、発生率を 12PPMに抑える目標として昨年度目標 を継続	●2017年度は、実績468件、目標比 55.5%と203件大幅にオーバーし未達 発生率目標に対し、実績22.8PPMと 10.8PPM超過 昨年度比較では、100件増加、発生率 は、5.1PPM 増加要因としては、店舗に内在している 苦情もすべて報告すること義務付けたこ と、また従業員のスキル不足、表情・態度 による要因が、大半を占め、同様の苦情 が繰り返されたことが増加要因	×	●2018年度は、接客サービス苦情を年間 目標件数、発生率(PPM)の目標設定に ついて、2017年度実績から現実的な目 標ではないことを反省し、昨年実績468 件、発生率22.8PPMを上回らないことを 次年度目標として改め、同様の苦情は発 生させない歯止めとして、苦情発生ごと に苦情当該店舗責任者、当該従業員への 「振り返りシート」の提出の徹底により歯 止めをかけていく取り組みを計画

※PPM(苦情発生率)・・・苦情件数/来店客数/100万分の1で算出。

商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●本社、仙台泉店空調のリニューアル(年間 約60kℓ削減)	●本社 空調更新:4.4kℓ 受変電設備更新:5.5 kℓ ●仙台泉店の空調更新なし	×	●ワカバウオーク店空調機器更新(年間約 25kℓ)
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●レジ袋辞退率:8.0%	●レジ袋辞退率:5.8%	△	●レジ袋辞退率目標:8.0%
従業員への意識啓発				
	●「6月の環境月間」に合わせて社内報で 配信し、積極的な啓発を図る	●社内報・全社業務通信などで積極的な啓 発を図った ●化粧品空容器回収実施(実績212個)	○	●「6月の環境月間」に合わせ、社内報・ 業務通信で積極的な啓発を図る ●同環境月間に単独店舗の外周清掃を実 施予定。(計9店舗)

環境関連データ

課題	単位	2015年度	2016年度	2017年度
CO ₂ 排出量※1※2※3	t-CO ₂	18,464	17,000	16,669
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量(1店舗当たり)※1※3	t-CO ₂	18,183(175)	16,770(157)	16,432(144)
店舗運営に伴う電気使用量※1	GWh	31	30	29
店舗運営に伴う水使用量※1	千m ³	45	26	22
レジ袋辞退率	%	6.8%	6.4%	5.8%

※1 集計期間は4月～3月。

※2 店舗運営・本社のエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
能力向上支援				
	●副店長(係長級)管理職研修 目標:半期に一度実施し、30%以上の女性社員の受講を促す	●計画通り研修を実施。女性社員(パート社員含む)の受講はそれぞれ30%を上回る 上期:64%、下期:89%	○	●女性パート社員活躍推進のため、副店長(係長級)研修を半期に一度実施し、30%以上の女性パート社員の受講を促す
公正な評価・処遇				
	●休日取得の運用見直しを実施し、100%休日を取得する	●休日取得率99.1%	△	●休日取得率100%
ワークライフバランスの実現				
	●対象者の育児休暇取得率:50%以上 ●一人当たり残業時間15時間未満	●育児休暇取得率21.6% ●一人当たり残業時間11.9時間	× ○	●育児休暇取得率30%以上 ●一人当たり残業時間15時間未満を維持
多様な人材の活躍				
	●パートリーダー在籍数220人 ●女性管理職比率(課長級クラス):25%以上 ●育児勤務者の中から副店長クラス以上の短時間勤務者:15人以上	●パートリーダー在籍数:207人 ●女性管理職比率(課長級クラス):22.9% ●3月時点で短時間勤務者は19人(副店長15人、BY・DB4人)	○	●パートリーダー不在店舗「0」へ ●女性管理職比率(課長級クラス)を維持:25.6% ●現状の育児短時間勤務者を維持、20人以上を目標とする
労働安全衛生への配慮				
	●労災発生件数:30件未満	●労災発生件数:38件	×	●労災発生件数:30件未満

人事関連データ

従業員の内訳(2018年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		902
	男性	503
	女性	399
パートタイマー ^{※2}		2,302
	男性	145
	女性	2,157
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		3,204
	男性	648
	女性	2,556
新卒採用者数		49
	男性	12
	女性	37
中途採用者数		12
	男性	9
	女性	3

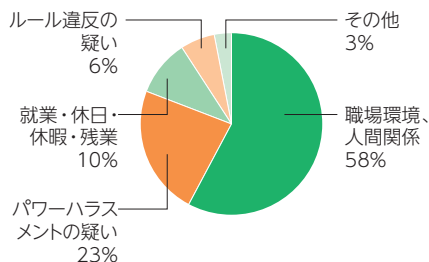
	2015年度	2016年度	2017年度	
正社員平均勤続年数	14年9カ月	13年8カ月	14年10カ月	
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	144人 (1、99)	116人 (0、63)	108人 (0、64)	
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	0人 (0、0)	3人 (0、2)	4人 (0、4)	
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし	
女性管理職数(比率) ^{※4}	168人(32.1%)	180人(33.3%)	188人(33.7%)	
	係長	111人(45.3%)	116人(45.5%)	120人(46.0%)
	課長	49人(20.6%)	58人(22.9%)	67人(25.6%)
	部長	5人(15.6%)	3人(11.5%)	1人(3.6%)
	役員	4人(22.2%)	4人(23.5%)	3人(18.8%)
障がい者雇用率 ^{※5}	2.03%	2.20%	2.10%	
正社員有給休暇取得率	39.6%	39.2%	41.2%	
労働災害度数率	0.00%	0.00%	0.35%	
労働災害強度率	0.00%	0.00%	0.01%	

- ※1 定年再雇用者12人を含みます。
- ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
- ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
- ※4 係長級以上の比率。
- ※5 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

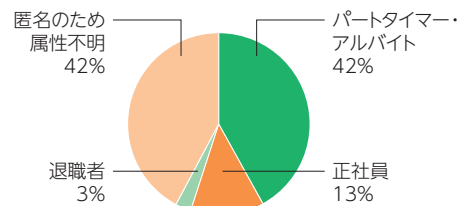
従業員相談受付関連データ

意思疎通の不十分によってパワーハラと受け止める相談が多くありました。全社的に、コミュニケーションの重要性について、反復して意識付けを図っています。2018年度も継続して、新入社員から専門職に至るまで、教育部門を中心に、公正取引・品質管理・法務などが連携してコンプライアンス研修を実施していきます。

2017年度相談内容の内訳 受付件数31件(前年度比111%)



相談者の内訳



高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本の寄贈継続 ●児童館との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボノンキャッシュカード発行による児童館への絵本寄贈を継続実施 ●一般財団法人 児童健全育成推進財団「みんなのコミュニケーション応援プロジェクト」への募金開始 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本の寄贈継続 ●児童館との連携強化
地域活性化への協力	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員のボランティアへの参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア休暇取得数は13件 ●本店が所在する千代田区内の企業で構成する「ちよだ企業ボランティア連絡会」のボランティア活動などに従業員が参加(10人) 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員の地域貢献活動への参加促進
地域防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除の対応継続 ●進化・多様化する金融犯罪に対する検知能力の向上、未然防止強化を継続 ●捜査機関、提携先などとの連携強化による金融犯罪全体の防止を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除を適切に実施 ●金融犯罪(マネー・ローンダリングを含む)の調査・分析結果を踏まえて検知能力を向上させ、未然防止、マネー・ローンダリング対策を強化 ●捜査機関、提携先などとの連携強化により、金融犯罪全体の防止に向けた取り組みを推進 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除の対応継続 ●進化・多様化する金融犯罪(マネー・ローンダリングを含む)に対する検知能力の向上、未然防止、マネー・ローンダリング対策強化を継続 ●捜査機関、提携先などとの連携強化による金融犯罪全体の防止を推進

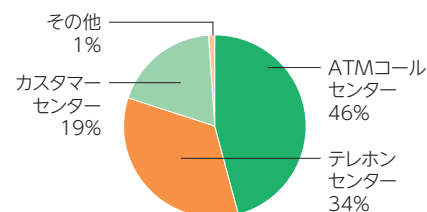
商品や店舗を通じた安全・安心の提供

お客様相談受付関連データ

セブン銀行では、お客様から寄せられるご意見・ご要望を真摯に受け止め、お問い合わせ内容をもとに次なるサービスの充実・発展に努めています。
海外送金カスタマーセンターでは、9言語でのお問い合わせに対応しています。

2017年度相談内容の内訳

受付件数895,440件(前年度比+104.7%)



課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●シナリオに頼らない各種訓練の充実 ●パンデミックを想定した初動訓練の実施 ●BCP責任者会議を継続、情報連携、課題解決による態勢の維持・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●突発的な事象(インシデント)を加えた訓練の実施により、BCPの実効性を確認 ●社会情勢を鑑みて、想定をテロ発生に変更した訓練の実施により、初動対応の実効性を確認 ●BCP責任者会議を継続的に実施し、体制の維持・強化を行った 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●BCPを確実に実行するため、継続的な訓練実施により体制の維持強化を図る
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なニーズに対応したATM機能の推進継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●金融機関以外との提携。当社ATMでの「ソフトバンクカード」や「LINE Pay」へのチャージ(入金)が可能となった。 ●2018年春を目途に「現金受取サービス」開始(サービス開始に向け子会社「株式会社セブン・ペイメントサービス」を設立) ●海外送金アプリからフィリピン向け送金サービス開始 ●スマートフォンATM取引サービス、提供先拡大 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なニーズに対応したATM機能の推進継続
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●CS向上の取り組みの継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●ATM画面上での、「海外カード操作ガイド(12言語対応)」、「お困り時のインターホン誘導表示」開始 ●お客様接点の拡大(チャットボット、メールの開始) ●お客様の期待に応える対応品質(ATMコールセンター、テレホンセンターの両センターにて外部機関(HDI)による最高格付け(三ツ星)獲得) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●CS向上の取り組みの継続実施
地域防犯対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除の対応継続 ●進化・多様化する金融犯罪に対する検知能力の向上、未然防止強化を継続 ●捜査機関、提携先などとの連携強化による金融犯罪全体の防止を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除を適切に実施 ●金融犯罪(マネー・ローンダリングを含む)の調査・分析結果を踏まえて検知能力を向上させ、未然防止、マネー・ローンダリング対策を強化 ●捜査機関、提携先などとの連携強化により、金融犯罪全体の防止に向けた取り組みを推進 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●反社会的勢力に関する情報収集継続と活用による取引排除の対応継続 ●進化・多様化する金融犯罪(マネー・ローンダリングを含む)に対する検知能力の向上、未然防止、マネー・ローンダリング対策強化を継続 ●捜査機関、提携先などとの連携強化による金融犯罪全体の防止を推進

商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●当社が間接的に排出するサプライチェーンでの温室効果ガス排出量(スコープ3)の継続的把握と開示	●「スコープ3」を算定見込み	△	●当社が間接的に排出するサプライチェーンでの温室効果ガス排出量(スコープ3)の継続的把握と開示
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●ペーパーレスの促進	●会議室・オープンスペースのモニター設置などで一定の効果はあったが、大幅な減少につながっていない	△	●ペーパーレスの促進
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●オフィスを含めた3Rの促進	●ATMの廃棄(第3世代7台) ●FSC認証用紙を継続的に利用 ●オフィスの文具、書籍のリサイクル、リユース活動の実施	○	●オフィスを含めた3R(リデュース、リユース、リサイクル)
従業員への意識啓発				
	●セブン&アイグループの環境ボランティアなどの活動への積極的な参加の継続 ●セブン銀行自主プログラムでの環境ボランティア活動の充実	●セブン&アイの東日本大震災復興応援企画、東京湾UMIプロジェクト、環境ボランティアに26人の従業員が参加	△	●セブン&アイグループの環境ボランティア、地域のボランティアなどの活動への積極的な参加の継続

環境関連データ

課題	単位	2015年度	2016年度	2017年度
OA用紙発注量	千枚	5,437	5,178	4,591
オフィスでの電気使用量*	MWh	1,236	1,172	1,134

* テナント入居のため一部把握できていない使用量もあります。有人店舗・直営ATM コーナーを含みます。

社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
能力向上支援				
	●社内外での人材交流の機会を増やし、次世代リーダーが自律的に成長することを支援する	●新任管理職研修(コーチング、労務知識) ●セブン&アイ・ホールディングス主催リーダー養成研修 ●経済産業省主催イノベーション研修 ●投資先主催イノベーター・マインド研修 ●国内MBA派遣	○	●社内外での人材交流の機会を増やし、次世代リーダーが自律的に成長することを支援する
ワークライフバランスの実現				
	●育児・介護などと仕事との両立支援に関する制度の積極的活用	●在宅勤務制度(利用者11人) ●育児休職取得者(16人) ●育児、介護を事由とした短時間勤務制度利用者(20人)	○	●育児・介護などと仕事との両立支援に関する制度の積極的活用
多様な人材の活躍				
	●ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ●国籍・性別に関わらず活躍できる環境・意識づくり ●障がい者雇用への積極的な取り組み ●有期雇用社員の無期雇用転換の継続	●生涯設計セミナー実施 ●障がい者雇用率2.22% ●介護セミナーの実施(3回) ●介護支援サービス斡旋の提供 ●介護等の一般的な相談事例の定期的な発信 ●有期雇用契約社員の無期雇用転換(19人)	○	●ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ●国籍・性別に関わらず活躍できる環境・意識づくり ●障がい者雇用への積極的な取り組み ●インナーコミュニケーションの活性化 ●全社員の参加機会の創出
労働安全衛生への配慮				
	●有給休暇の取得徹底継続 ●定時退社励行期間の徹底・工夫 ●ストレスチェックの実施	●有給休暇取得率:87.2% ●定時退社励行期間(2回) ●ストレスチェックの実施		●有給休暇の取得徹底継続 ●定時退社励行期間の徹底・工夫 ●ストレスチェックの実施

人事関連データ

従業員の内訳(2018年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		390
	男性	299
	女性	91
パートタイマー ^{※2}		97
	男性	12
	女性	85
従業員数(正社員数+パートタイマー数) ^{※3}		487
	男性	311
	女性	176
新卒採用者数		11
	男性	7
	女性	4
中途採用者数		14
	男性	12
	女性	2

	2015年度	2016年度	2017年度	
正社員平均勤続年数 ^{※4}	6年6カ月	7年7カ月	8年2カ月	
育児休職取得者数 ^{※5} (うち男性、パートタイマー)	10人 (1、0)	13人 (1、5)	16人 (2、5)	
介護休職取得者数 ^{※5} (うち男性、パートタイマー)	0人 (0、0)	0人 (0、0)	0人 (0、0)	
ボランティア休暇取得者数	9人	11人	13人	
女性管理職数(比率) ^{※6}	22人(10.0%)	55人(17.4%)	55人(17.9%)	
	係長	3人(60.0%)	35人(30.2%)	32人(30.8%)
	課長	19人(10.3%)	19人(10.7%)	23人(12.8%)
	部長	0人(0.0%)	1人(7.1%)	0人(0.0%)
	役員	3人(12.0%)	3人(12.5%)	2人(8.3%)
障がい者雇用率 ^{※7}	2.28%	2.22%	2.20%	
正社員有給休暇取得率	78.7%	83.2%	87.2%	
労働災害度数率	1.04%	0.00%	0.00%	
労働災害強度率	0.00%	0.00%	0.00%	
従業員相談受付数	0件	1件	2件	

- ※1 定年再雇用者37人を含みます。
 ※2 1日8時間換算による月平均人員
 ※3 従業員数は、役員、執行役員、当社から社外への出向者、派遣スタッフを除き、社外から当社への出向者を含めた就業人員
 ※4 会社設立は2001年。
 ※5 該年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
 ※6 役員を除いた課長級以上の比率。
 ※7 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

2017年度の活動目標・実績と2018年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2017年度の目標・計画	2017年度の実績・成果	評価	2018年度の目標
環境に配慮した商品の提供	●環境に配慮したATMの安定的運用	●ATMの安定的な運用はできている	○	●環境に配慮したATMの安定的運用